

第 8 回 福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会 資料

【日時】 令和 7 年 8 月 1 日（金）
13：30～15：30

【場所】 福知山市厚生会館 中会場

本日の再検討委員会では以下を議題として検討を行います

本日の議題

1. 整備費の単年度負担額(目安) について
2. 施設機能について
3. 建設候補地について

1. 整備費の単年度負担額（目安）について

整備費用における単年度負担額を算出するため、近年に整備された類似施設を確認しました。

【建設費（概算）】

1,000席規模

■参考施設

「薩摩川内市川内駅コンベンションセンター（SSプラザせんだい）」
座席数：1,001席（令和3年1月開業）

建設費： 約46.7億円
(6,309㎡×74万円÷46.7億円)

建設費単価
74万円/㎡

延床面積
6,309㎡

建築面積
2,800㎡



《機能》

- ア **多目的ホール** (約1,300㎡)
 - ・平土間形式 スクール形式：約 500人
円卓形式：約 400人
立食形式：約 600人
 - ・シアター形式 移動観覧席18段展開：約1,000人
移動観覧席11段展開：約 480人
移動観覧席 7段展開：約 340人
- イ **その他** 舞台(幅26.5m×奥行7.7m)、楽屋3室、パントリー
- ウ **会議室**
 - ・室数：11室〔最大利用者約460人(最大約200人収容/大会議室)〕
 - ・キッチン、練習室等の機能を付加
- エ **市民交流フロア**
 - ・交流スペース
 - ・自由利用スペース
 - ・市民サポートセンター
 - ・子育て世代包括支援センター
子育てに関する総合的相談支援
 - ・ファミリーサポートセンター
育児の援助を受けたい人と援助をしたい人をマッチング機能
 - ・市民活動センター
市民活動団体、NPO法人・ボランティア団体の活動支援機能
 - ・男女共同参画センター
男女共同参画に関する講座等の開催、情報提供、相談機能
- オ **次世代エネルギー施設**
 - ・太陽光発電設備、蓄電池設備、地中熱利用設備、水熱源空調設備、EMS、デジタルサイネージシステムを導入
- カ **北側駐車場（業務用駐車場）**
 - ・川内駅平佐口（東口）立体駐車場建設中は一般駐車場として使用

出所：<https://www.sendai-sta-cvp.jp/visitor/visitor-facility/>

*建設費については、公表情報ベースでの数値の確認となっているため、外構等の周辺整備費、（必要に応じて）土地の造成費、設計費、什器・備品費なども含めた総事業費はもう少し高くなることが想定されます（現段階では、参考値としてお示しします）

なお、『福知山市新文化ホール基本計画』における概算単価は90万円～100万円の設定をしており、近年の物価上昇も加味すると、さらに上昇している可能性も想定されます

当初の「福知山市新文化ホール基本計画」においても概算建設工事費を約45億～50億としていることから、建設費を**50億円**として、単年度負担額を算出します。

建設費を仮に50億円と想定した場合の財源内訳・交付税措置等について整理しました。

【想定される財源内訳及び交付税措置】

財源	内訳						
国庫補助 都市構造再編集支援事業補助	10億円	交付税措置額 (元金)	差し引き 市負担額	利息	交付税措置額 (利息)	差し引き 市負担額	市負担額 (元利計)
文化芸術会館等建設基金	4.5億円						
市債借入額	35.5億円	約12億8,000万円	約22億7,000万円	約17億円	約6億1,000万円	約10億9,000万円	約33億6,000万円
計	50億円						

単年度あたりの市負担額 **1億3,000万円**

年間全体支出に対して**0.26%***

*令和5年度 福知山市決算概要のデータを参考

《注釈》

- ・市債の借入は30年償還（据置期間5年）で仮定。元金償還は25年間、利息償還は30年間となる。
- ・上記により単年度あたりの市負担額元利計は、約1億3,000万円となる。ただし、借入後初めの5年間は利息（約4,000万円）のみ支払い、6年目以降に元利計の支払いとなる。

※建設費は近年の物価高騰等が反映されていないこと、また財源構成については、期限付きの地方債を含むことから、参考・目安としてご理解ください。

整備のための財源としては、国庫補助や文化芸術会館等建設基金の他、有利な市債等を活用し、市の財政負担の軽減や平準化を図ることを検討します。

また、ネーミングライツの活用や、企業や個人等、広く一般から寄付を募るなど多様な財源の確保に努めます。

2. 施設機能について

前回の再検討委員会では、新文化ホールについては固定席をメインとすることとしました。
本日はその他の施設の機能について確認・検討を行います。

ホール機能（舞台）における他市町近隣施設の状況

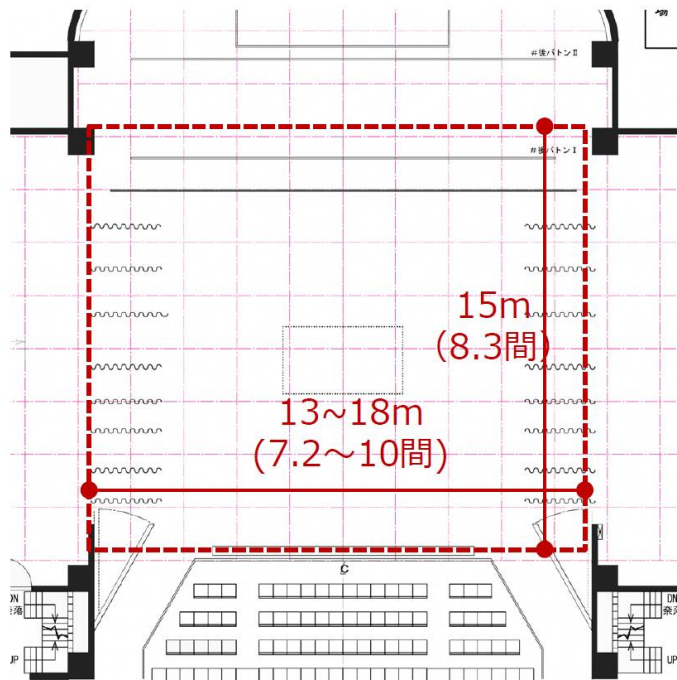
施設名	席数(席)	開館年	舞台開口幅 (m(間))	舞台奥行 (m(間))	舞台全幅 (m(間))	舞台高さ (m)
福知山市厚生会館	1,002	1962年	17.0 (9.4)	8.0 (4.4)	約28.6 (16)	6.0
京都府中丹文化会館	1,000	1983年	17.0 (9.4)	14.5 (8)	約34.5 (19)	14.5
舞鶴市総合文化会館	1,410	1983年	17.3 (9.6)	12.5 (6.9)	約32.5 (18)	6.0
丹波市ライフピアいちじま	500	1995年	13.6 (7.5)	8.2 (4.5)		6.5
丹波市春日文化ホール	612	1988年	14.5 (8.0)	6.4 (3.5)		6.0
兵庫県立丹波の森公苑ホール	705	1996年	18.0 (10)	11.0 (6.1)	約34.5 (19)	8.0
丹波篠山市田園交響ホール	800	1988年	16.5 (9.1)	10.0 (5.5)	約29.0 (16)	8.6
丹波篠山市四季の森生涯学習センター	514	1989年	11.0 (6.1)	9.0 (5)		7.0
多可町文化会館ベルディホール	616	1990年	15.0 (8.3)	10.2 (5.6)	約30.5 (17)	8.1
朝来市ジュピターホール	800	1992年	19.0(10.5)	10.0(5.5)		7.0
養父市民交流広場	651	2021年	16.2 (9)	12.2 (6.8)	約28.6 (16)	11.5
豊岡市民会館	1,118	1971年	17.0 (9.4)	9.3 (5.1)	約28.2 (15.5)	7.2

舞台開口幅・奥行は各施設HP、全国公立文化施設協会HPより
舞台全幅は各施設仕込み図より計測

ホール機能

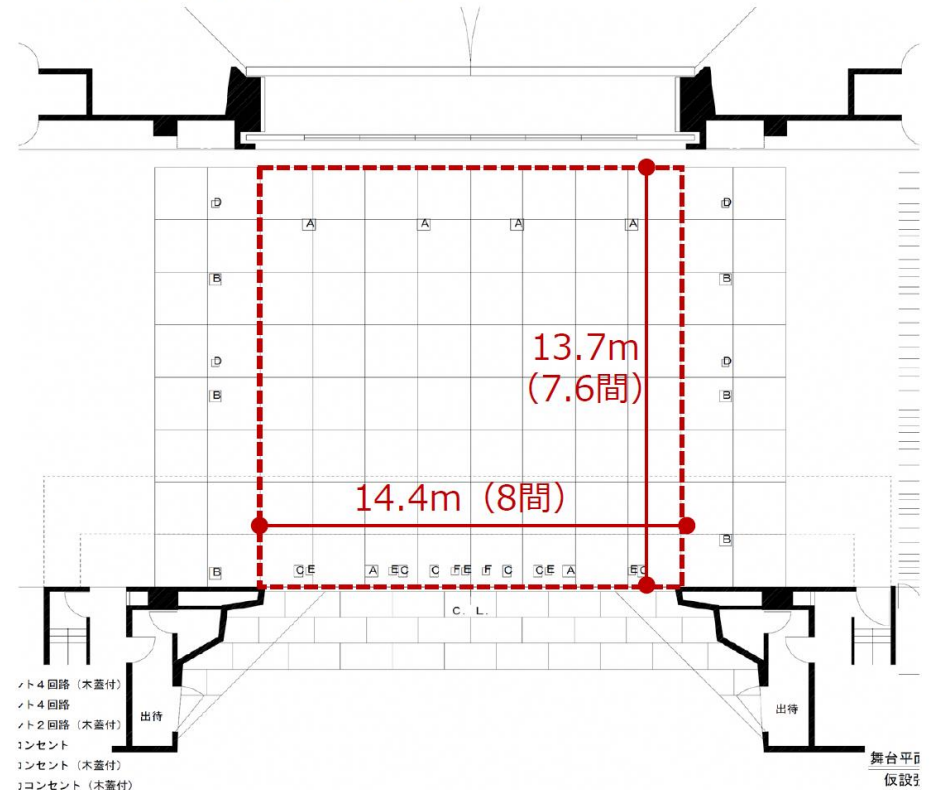
演目により求められる舞台開口幅・奥行の事例（演劇）

兵庫県立尼崎青少年創造劇場
ピッコロシアター 大ホール（396席）



【主な用途：演劇】

能登演劇堂（651席）



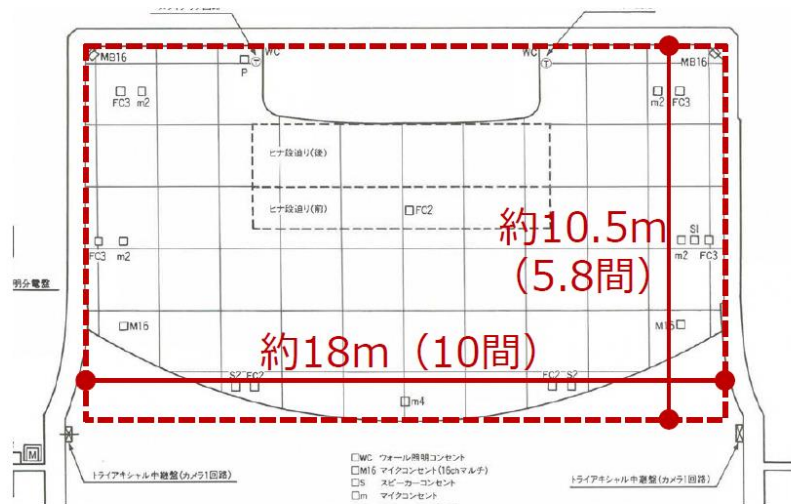
【主な用途：演劇】

出典：各施設仕込み図より作成

ホール機能

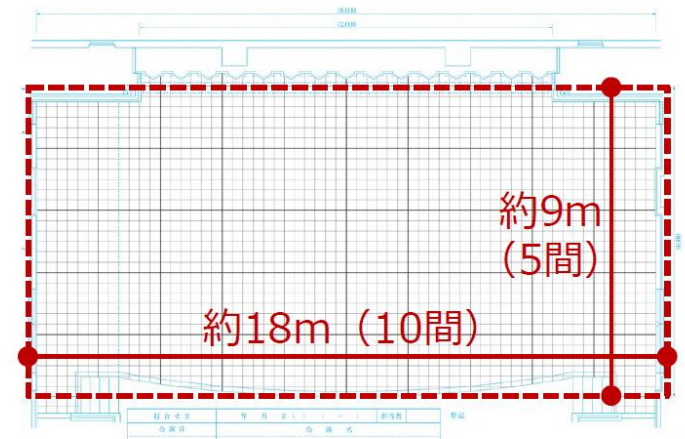
演目により求められる舞台開口幅・奥行の事例（音楽）

住友生命いずみホール（821席）



【主な用途：音楽】

紀尾井ホール（800席）

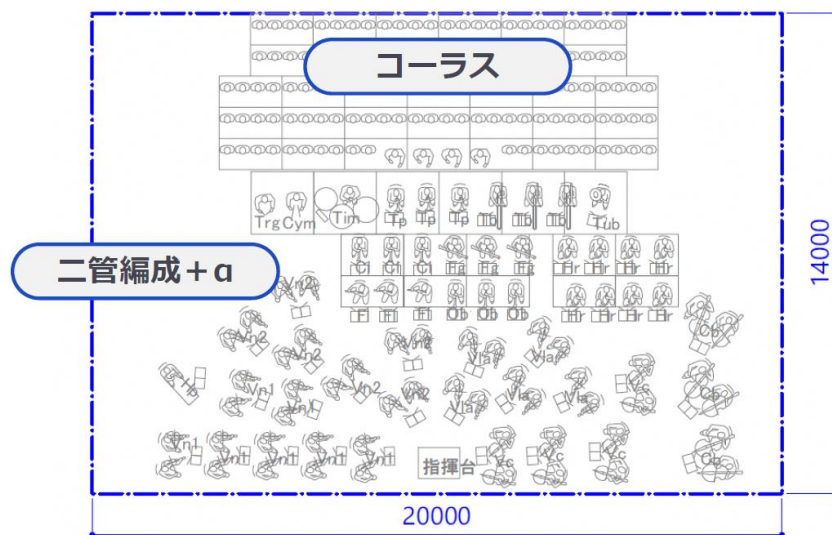


【主な用途：音楽】

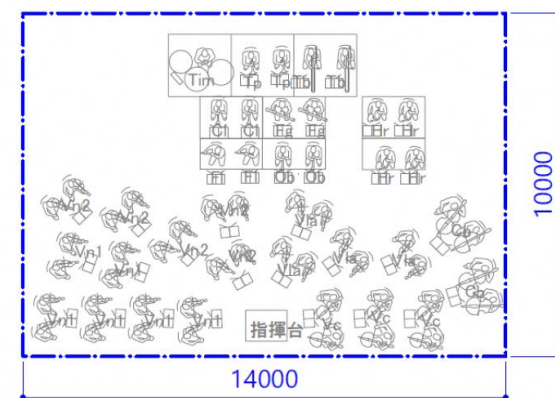
出典：各施設仕込み図より作成

ホール機能

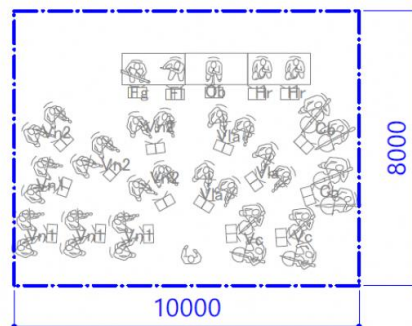
音楽利用のレイアウト例



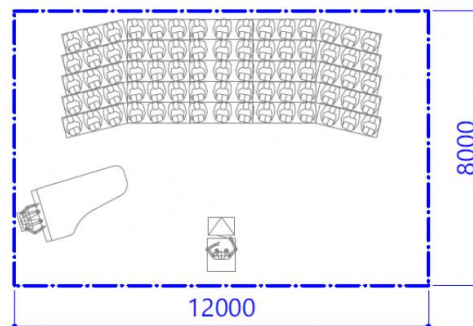
【大規模オーケストラ（合唱付き）】



【中規模オーケストラ（2管編成）】



【小規模オーケストラ（1管編成）】



【合唱】



【ロック・ジャズ】

舞台のサイズが大きいほど大規模な作品や多様な演出に対応できます。

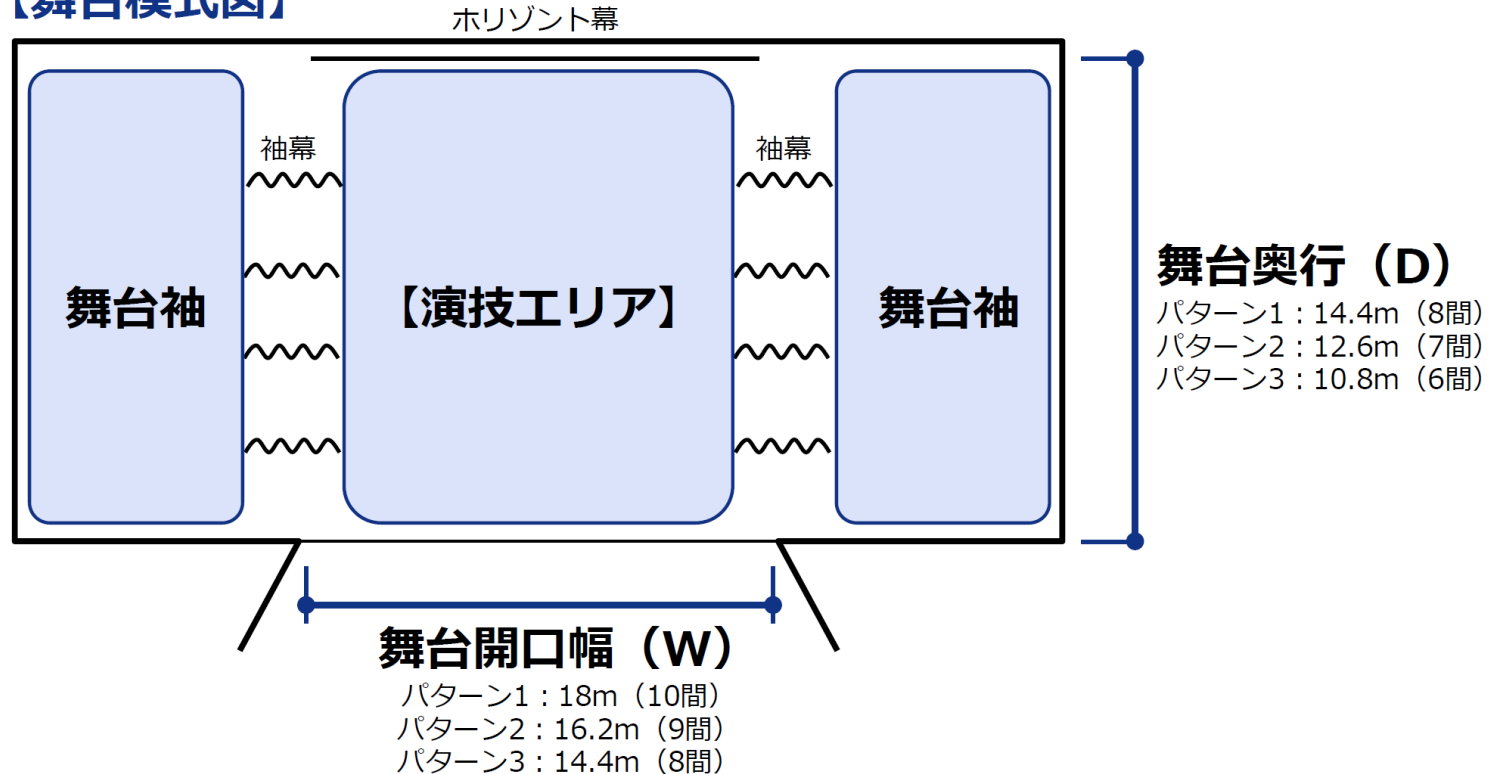
舞台サイズのパターン検討案（舞台サイズと対応する演目・舞台）

パターン	舞台大きさ	対応する演目	備考
パターン1	幅18.0m（10間） × 奥行14.4m（8間）	・ オペラ、バレエ公演 ・ 大規模編成のオーケストラ 等	・ プロの公演にも十分対応可能 ・ 大規模の興行に対応 ・ 近隣施設と同等以上の規模
パターン2	幅16.2m（9間） × 奥行12.6m（7間）	・ バレエ発表会 ・ 中規模編成のオーケストラ 等	・ 市民の発表会に対応可能 ・ プロの公演にも対応可能 ・ 小～中規模の興行に対応 ・ 近隣施設と同等程度の規模 ・ 舞台幅は厚生会館と同等
パターン3	幅14.4m（8間） × 奥行10.8m（6間）	・ 小規模編成のオーケストラ ・ 室内楽演奏会 ・ ピアノ発表会 ・ 合唱発表会 等	・ 現状の厚生会館よりも小さい舞台面積（奥行は同等）

ホール機能

舞台サイズパターンの検討 ― 舞台大きさの考え方 ―

【舞台模式図】



➡他施設との舞台寸法比較のため、パターン分けにおける舞台寸法は、舞台幅をプロセニウム開口の幅とし、舞台奥行きを舞台端から Horizont幕までの距離とした。
（実際の演技エリアの広さ（幅）は袖幕等のレイアウトによる）

1,000席及び800席の客席規模で舞台サイズの大小による面積を試算しました。

試算結果

試算の条件	・客席数、舞台サイズの組み合わせによるホール部門機能部分の面積（㎡） ・客整数にあわせて、客席、ホワイエ、客用便所の広さを想定 ・楽屋、倉庫、技術諸室は標準的な規模を想定
-------	---

客席数		1,000席			800席		
舞台（間）		W10×D8	W9×D7	W8×D6	W10×D8	W9×D7	W8×D6
主舞台	W×D	259	204	156	259	204	156
袖舞台	主舞台と同規模	259	204	156	259	204	156
客席	客席数×0.8	800	800	800	640	640	640
ホワイエ	客席数×0.5	500	500	500	400	400	400
客用トイレ	実績より算定	250	250	250	200	200	200
楽屋	300㎡程度（大、中×2、小）＋その他諸室	300	300	300	300	300	300
備品庫等	400㎡程度	400	400	400	400	400	400
技術諸室	200㎡程度	200	200	200	200	200	200
ホール機能	面積合計（㎡）	2,968	2,858	2,762	2,658	2,548	2,452

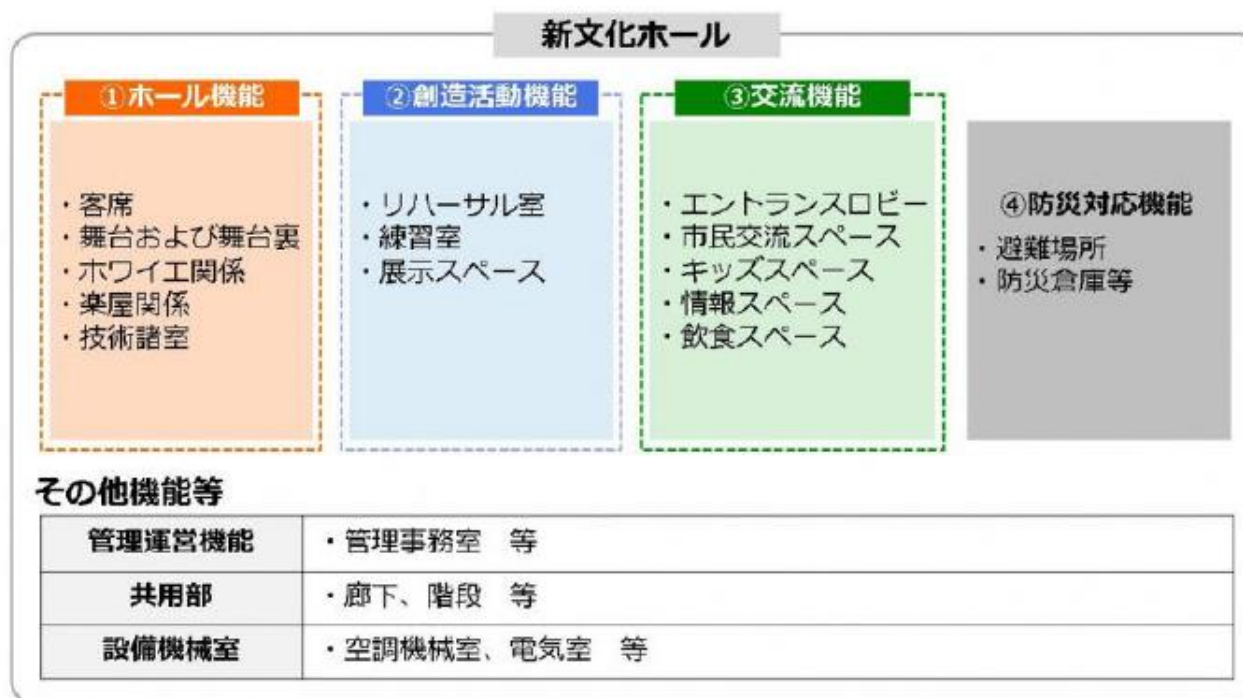
以下は「新文化ホール基本計画」で想定していた施設機能です。
引き続き、創造活動機能・交流機能について確認・検討を行います。

当初の基本計画に記載する施設機能（「新文化ホール基本計画 概要版」より）

1 施設機能

新文化ホールは、以下のような施設機能とします。

福知山市ユニバーサルデザイン推進指針や、関係法令等を踏まえて、ユニバーサルデザインに対応した計画とします。



創造活動機能

創造活動機能における他市町近隣施設の状況

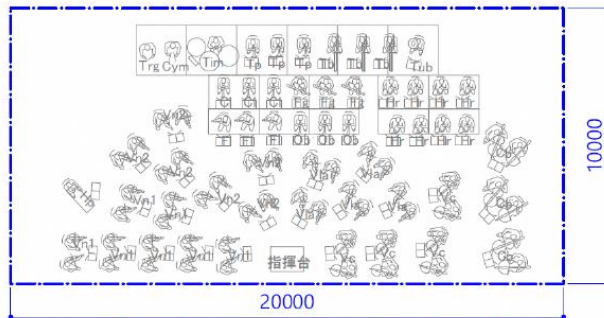
施設名	席数 (席)	開館年	リハーサル室 ※	音楽練習室	ダンス練習室	会議室 研究室	展示室	和室	創作室	調理室	その他
福知山市厚生会館	1,002	1962年				3		1			
京都府中丹文化会館	1,000	1983年		3							
舞鶴市総合文化会館	1,410	1983年	1	1		4	2	1			リハ室は小ホール兼（350席）
丹波市ライフピアいちじま	500	1995年	1		1	8	1	3		1	工芸室 1、視聴覚室 1、茶室 1、図書室 1
丹波市春日文化ホール	612	1988年				1					
兵庫県立丹波の森 公苑ホール	705	1996年		1							練習室は楽屋兼（135㎡）
丹波篠山市 田園交響ホール	800	1988年									特別応接室 1
丹波篠山市四季の森 生涯学習センター	514	1989年				7	1	2		1	PC室 1
多可町文化会館 ベルディホール	616	1990年	1								会議室はリハーサル室兼（300人収容）
朝来市ジュピターホール	800	1992年	1			1					応接室 1
養父市民交流広場	651	2021年	1			3		1		1	図書館併設
豊岡市民会館	1,118	1971年	1			4	2	2			多目的室 1

※小ホールはリハーサル室に含む

創造活動機能

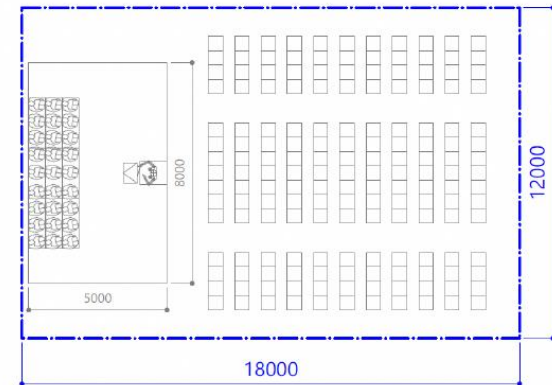
創造活動機能 — 多目的スペース・リハーサル室 配置イメージ—

【リハーサル利用】



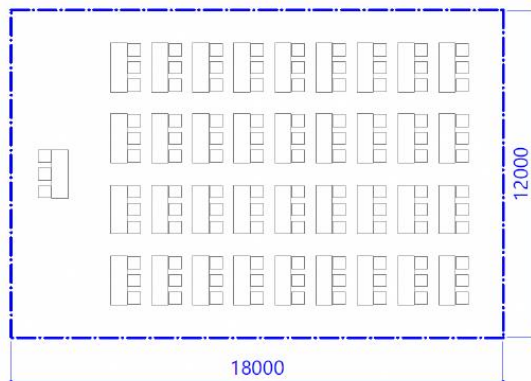
大規模オーケストラ（3管編成）

【発表・ミニコンサート】



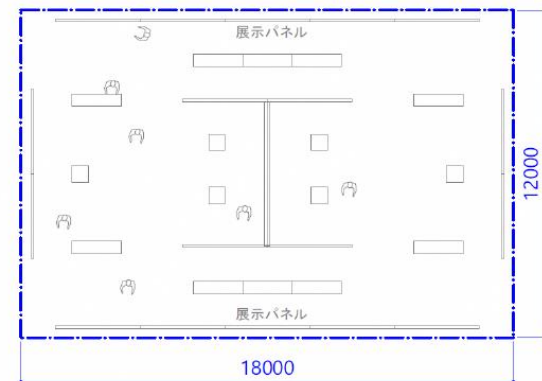
合唱発表会配置例（165席）

【会議】



大規模会議配置例（108席）

【展示】



展示配置例）

創造活動機能

創造活動機能 — 多目的スペース・リハーサル室 仕様イメージ

小ホール（フレサよしみ）：213m²

設備：可動式ステージ、大型鏡



サロンホール（東広島芸術文化ホール）：196m²

天井高：6m

設備：天井グリッドバトン



プチホール（桶川市民ホール）：163m²

天井高：7m

設備：仮設ステージ



マルチスペース（大船渡市民文化会館）：246m²

天井高：7.5m（キャットウォーク高さ）

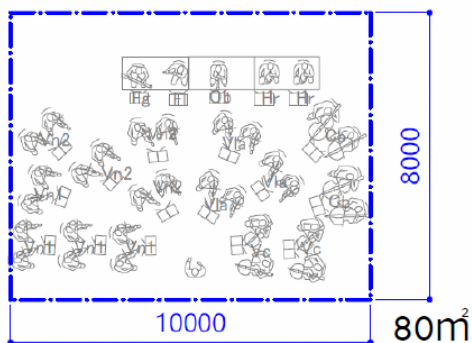
設備：ビデオプロジェクター



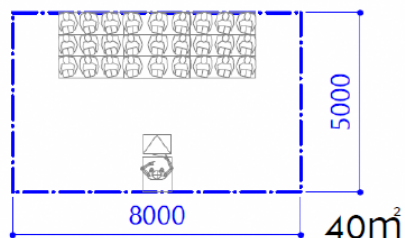
創造活動機能

創造活動機能 — 練習室・会議室の利用イメージ—

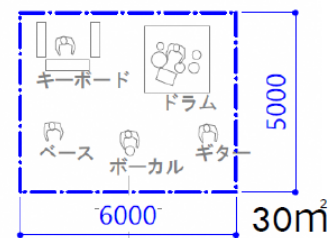
【練習室（音楽利用）】



小規模オーケストラ（1管編成）

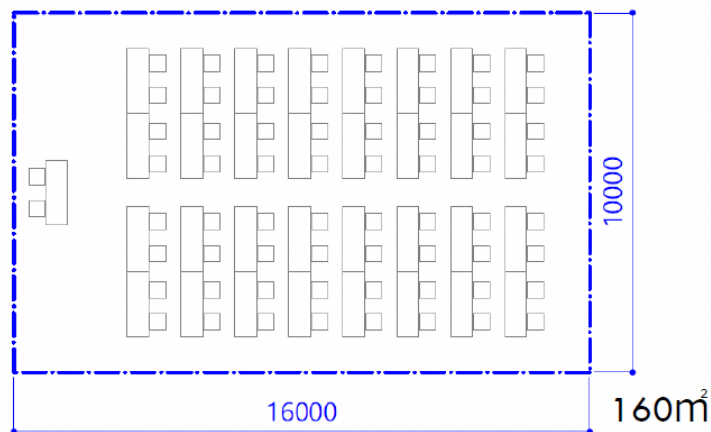


合唱練習

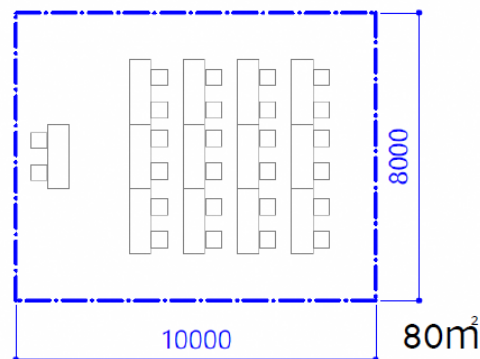


ロック・ジャズ

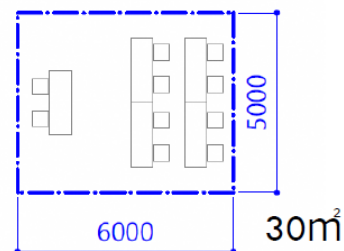
【会議室】



スクール形式（64席、机32台）



スクール形式（24席、机12台）



スクール形式（8席、机4台）

創造活動機能

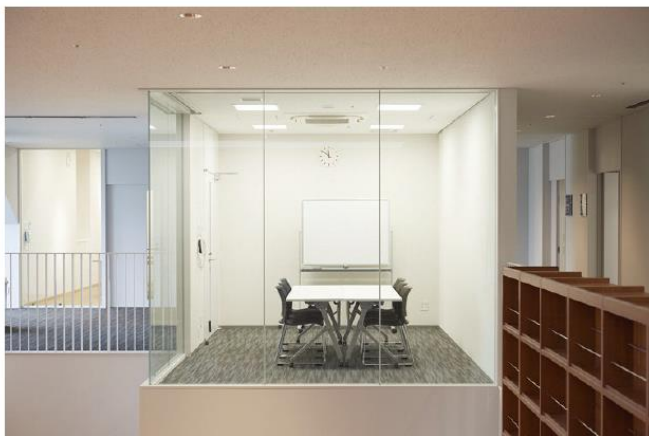
創造活動機能 — 仕様イメージ —



創造支援室M2（音楽用途）
（東大阪市文化創造館 28.6㎡）



創造支援室D2（ダンス用途）
（東大阪市文化創造館 97.5㎡）



創造支援室C6（会議用途）
（東大阪市文化創造館 14.4㎡）



創造支援室A1（工芸用途）
（東大阪市文化創造館 48.5㎡）

創造活動機能

創造活動機能 — 重ね使いの事例 —

練習室と会議室

(南相馬市文化会館 ゆめはっと)



【練習利用】



【会議利用】

展示室と会議室

(三鷹市公会堂)



【展示利用】



【会議利用】

スタジオと会議室

(下呂交流館 アクティブ)



【スタジオ利用】



【会議利用】

アトリエと展示室

(北上市文化交流センター さくらホール)



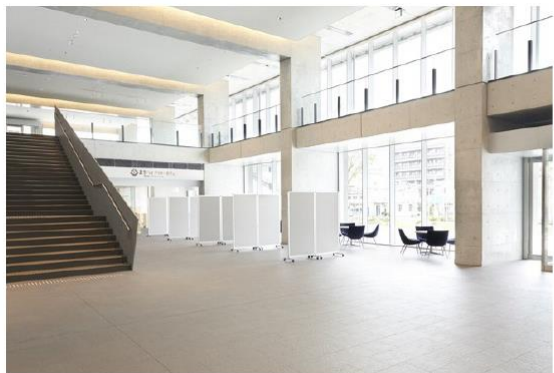
【アトリエ利用】



【展示利用】

つづいて交流機能の確認・検討を行います。

交流機能 — 諸室イメージ



エントランスロビー兼ギャラリー
(東大阪市文化創造館)



情報コーナー
(北上市文化交流センター)



まちづくり交流スペース
(さいき城山桜ホール)



屋内こども広場
(大和市文化創造拠点シリウス)



学習ゾーン
(黒部市国際文化センター)

全体規模としての目安は以下の通りです。

- ・ホールパタン毎の全体面積想定
- ・延床面積5,400㎡～6,300㎡程度

ホール パタン	客席数	基本計画当初想定	1,000席			800席		
	舞台（間）	想定面積	W10×D8	W9×D7	W8×D6	W10×D8	W9×D7	W8×D6
想定 面積 (㎡)	ホール機能 (客席、舞台及び舞台裏、ホワイ エ関係、楽屋関係、技術諸室)	2,300	2,968	2,858	2,762	2,658	2,548	2,452
	創造活動機能 (リハーサル室200㎡・練習室① 150㎡・練習室②100㎡・その他50 ㎡を仮に想定した場合)	500	500	500	500	500	500	500
	交流機能 (ロビー、交流スペース、キッズスパー ス、情報スペース、飲食スペース)	300	300	300	300	300	300	300
	管理運営機能 (管理事務室)	100	100	100	100	100	100	100
	防災機能 (避難場所・防災倉庫等)	100	100	100	100	100	100	100
	共用部 機能面積の35%	1,100	1,389	1,350	1,317	1,280	1,242	1,208
	機械室 延床面積の15%	600	945	919	896	871	845	822
	合計	5,000	6,302	6,127	5,975	5,809	5,635	5,482

3. 建設候補地について

各建設候補地における情報を以下に示します。 これらの情報を参考に候補地の検討をお願いします。

建設候補地情報①

場所			駅北ゾーン			御霊公園・厚生会館ゾーン	
			1	2	3	4	5
			市民交流プラザ (駐車場敷地)	駅北口公園	福知山駅前 ※バスターミナルビル として整備	厚生会館用地	御霊公園
都市計画	用途地域		商業	商業 (都市公園)	商業	準工業	近隣商業 (都市公園)
	建蔽率*／容積率		80(100)/400	80(100)/400	80(100)/400	60 (70)/200	80(90)/200
	許容建築面積 (敷地面積×建蔽率)		2,580㎡	2,988㎡	3,000㎡	2,074㎡	5,263㎡
	許容延床面積 (敷地面積×容積率)		10,320㎡	11,952㎡	12,000㎡	5,928㎡	11,696㎡
	日影規制		なし	なし	なし	あり	あり
行政企画等	浸水深(浸水 想定区域)	1000年確率	6.97m	7.08m	6.21m	7.66m	7.51m
	防災機能(近隣避難所)		有 (市民交流プラザ)	有 (市民交流プラザ)	有 (市民交流プラザ)	有 (商工会館)	有 (商工会館)
	立地適正化計画エリア		都市機能誘導区域	都市機能誘導区域	都市機能誘導区域	都市機能誘導区域	都市機能誘導区域
敷地	規模形状等	面積※GIS読み	2,580㎡	2,988㎡	3,000㎡**	2,964㎡	5,848㎡
		形状	東西40～48.5m 南北55～61.5m	東西68～75m 南北38～45m	東西80～95m 南北80～95m	東西38m 南北66～68m	東西84～88m 南北63～71m

* () 内は耐火建築物等を建てた場合の緩和措置を考慮 ※京都府等との協議が必要

**ロータリ上部空間の概ねの面積

建設候補地情報②【再掲】

留意点に掲載の金額や期間は、概算の目安の値であることに留意。費用はあくまで整備費のみを計上しており、事前調査費等は含んでいない。

項目		駅北ゾーン			御霊公園・厚生会館ゾーン	
		1	2	3	4	5
		市民交流プラザ (駐車場敷地)	駅北口公園	福知山駅前 ※バスターミナルビルとして整備	厚生会館用地	御霊公園
基礎立地条件	アクセス*	駅徒歩1分			駅徒歩13分	駅徒歩12分
	周辺環境	近隣には駅前立地の店舗が多数ある環境			駅からはけやき通り沿いの商業エリアを通過する立地で、近隣には広小路商店街などもある	
	中心市街地への周遊性・回遊性	アクセスが良く駅前・駅中で消費等が完結してしまうため、ホール利用前後での周辺施設への周遊性・回遊性は限定的になる可能性がある			駅から少し距離があり、駅からの訪問の場合、ホール利用前後での周辺施設への周遊性・回遊性が一定程度期待できる	
活用に向けた主な留意点		✓交流プラザ近接地での建設のため、建築への制約が出る ✓接道整備などが必要(200-600万円規模) ✓交流プラザの駐車場確保で立体駐車場整備が必要(1.5-5億円規模)	✓都市公園(街区公園)のため代替地確保等の手続きが必要(3-5年程度) ✓代替公園の整備を行う場合、整備費用が必要(1-3億円規模※用地取得費や物件移転補償費等を除く)	✓複合機能を持たせる場合、複合施設全体としてのコンセプト・必要機能・連携体制・役割分担の追加検討が必要(3-5年程度) ✓ターミナルビル化する場合、通常建設より費用が高くなる可能性がある(複合施設建設費総額：150-300億円規模)	✓追加手続きは発生しないものの、現地建替となるためホール不在期間が発生 ✓追加用地確保の検討が必要	✓神社等との調整が必要 ✓都市公園(街区公園)のため代替地確保等の手続きが必要(3-5年程度) ✓代替公園の整備を行う場合、整備費用が必要(1-3億円規模※用地取得費や物件移転補償費等を除く)
		✓駅正面リニューアル事業など駅近隣の既存取り組みとの連携や整合を取るなども必要 ✓状況や内容によりJR等との協議などが必要 ✓大規模な道路整備が必要				
サウンディングの主な意見		✓都心部や府外からのアクセス確保の面で、駅付近が良い(○) ✓ホテルと合築し、PFI方式のホテル収入でホール運営は、おそらく実現が難しい(✕)			✓福知山城や城下町周辺に建設し、歴史と文化を組み合わせることで地域ブランディングを強化し、遠方からの観光客を誘致できる(○) ✓観光(歴史)施設との周遊があれば相乗効果はある(○)	
		✓駅周辺もしくは、遠くても駅から徒歩15分圏内を推奨する(○) ✓多くの方に利用していただくため、市街地エリアを建設候補地とした方が良い(○) ✓街中エリアなどを対象に、特定の場所が多くの人で賑わっている印象をつくることを狙うべき。地域に同じ人数の出入りがあったとしても、薄く広い人の流れでは、賑わいが生まれない(○) ✓建設費が高騰しているため、建設が一年遅延すると建設費は億単位で変動する(✕)				

※都市公園については、災害時に避難地や防災空間として活用されるほか、救援物資の集積地、災害活動の拠点としての役割も兼ね備えており、代替公園にはこういった役割を果たせる規模が必要である。
また、御霊公園については、応急仮設住宅建設予定地となっている。

*：福知山駅からのアクセスを想定

建設候補地の位置を以下に示しています。

建設候補地一覧

*福知山市中心市街地活性化基本計画で設定されているエリア



(参考) 駅北ゾーンにおける各建設候補地の敷地面積は以下の通りです。

駅北ゾーン



地図出所：国土地理院地図（写真）

(参考) 御霊公園・厚生会館ゾーンにおける各建設候補地の敷地面積は以下の通りです。

御霊公園・厚生会館ゾーン



地図出所：国土地理院地図（写真）